



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

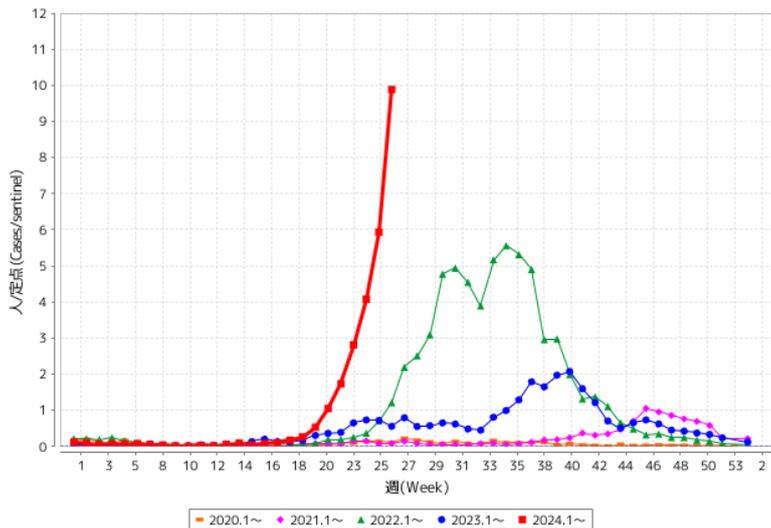
【感染症だより】

7月（文月：ふみづき）梅雨、湿気、蒸し暑さが続きます。日中暑くても夜間や明け方は冷えることがあります。エアコンは設定温度をあまり低くせずに弱冷房や切タイマーなど上手に使ってゆきましょう。

～手足口病・ヘルパンギーナについて～

手足口病が5月ごろから流行して6月上旬に警報レベルに達しました。ここ数年の東京都の報告数では最も多くなっています。手足口病はヘルパンギーナと同様、夏に流行する小児の「夏風邪の一種」であり、発熱・発疹をみとめるウイルス性感染症です。コクサッキーウイルスや、エンテロウイルスなどが原因ウイルスです。症状は、発熱、手足口にでる発疹です。直径2-3mmの水疱が、口腔粘膜や口の周り、腕から手のひら、下腹部～足の裏まで出ます。発熱して数日後に発疹が出てくることも多く、発病初期には診断がつかないことがあります。お口の中の発疹の痛みが強い場合は飲食できなくなることがあります。食べられないときでも水分補給だけは頑張ってい、脱水症を起こさないようにしましょう。ほとんどの場合は軽症ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎を起こすこともあります。咳やくしゃみ、便の中には2～4週間ウイルスが排出されますので手洗いというがいで予防しましょう。治ってから1～2か月後に爪が割れたり剥がれたりすることがありますが（爪甲脱落症）、その後は新しい爪が生えてきます。

東京都の手足口病の流行状況（赤線が2024年）



(C)2002-2024 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

～新型コロナウイルスについて～

東京都では4月下旬からジワジワと増加傾向が続いていますが、以前のような大流行はしていません。現在はオミクロン KP.3 型が主流となっていますが、特に入院者数や重症化数は増えていません。

～麻疹について～

東京都で2月と3月に6例発生した麻疹は、5月の3週目に1例発生した後、報告が出ていません。6月30日までに新しい報告は無く、都内からの伝染は収束しているようです。

表：6月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

順位	感染症	患者数
1	溶連菌	177
2	胃腸炎(アノ1ノ1含む)	110
3	ヘルパンギーナ・手足口病	99
4	とびひ(伝染性膿痂疹)	20
5	咽頭アノウイルス(アノ熱)	13
6	新型コロナウイルス	11
7	RSウイルス	7
8	突発性発疹	6
9	ヒトメタニューモウイルス	2
10	おたふく風邪	1
10	水ぼうそう	1
10	リンゴ病	1

あんず通信バックナンバーはクリニックホームページからご覧になれます。
<https://www.ssn-clinic.net/index.html>

～あんずからのお知らせ～

★空き状況は Web で

しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★キャンセルをされる場合

留守番電話で構いませんので当日8:30までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入るようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた病名によって、なるべく同じ病気のお子様が同じお部屋になるよう部屋割りをしています。感染予防のためにインフルエンザや新型コロナウイルスの接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

予防接種ニュース

令和6年4月より五種混合ワクチンの定期接種が始まりました。同時に、これまで13価だった小児肺炎球菌ワクチンが新たに15価のものが定期接種として導入されました。

